

事業別の概況

■売上概況

●電池事業

アルカリ乾電池は、期前半は東日本大震災による店頭での品薄状態を解消するため増産に取り組み、前年同期を上回りました。ニッケル水素電池は、北米・欧州市況の低迷により市販用が落ち込んだため前年同期を下回りました。リチウム電池は、防犯・防災機器用の需要が減少したことに加え、携帯電話、ノートパソコン用の需要が減少したことなどから、前年同期を下回りました。

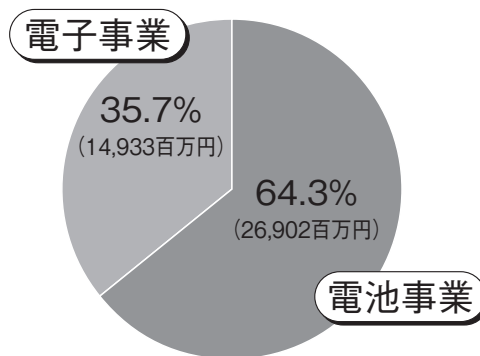
その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ23億69百万円減の269億2百万円となりました。

●電子事業

液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、世界的な液晶パネルの供給過剰状態のなかで、各パネルメーカーが生産調整を継続したことにより受注が減少し、前年同期を大きく下回りました。スイッチング電源は、サーバ向けの所要が減少し前年同期を下回りました。コイルデバイスは、東日本大震災の影響で自動車の国内生産が減少したことにより自動車用の受注が減少したことに加え、液晶テレビ需要の減速を受け液晶テレビ用の受注が伸び悩んだことなどにより、前年同期を下回りました。トナーは、プリンタ用の需要が好調に推移し前年同期を上回りました。光通信用部品は、海底ケーブル用が増加し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ55億86百万円減の149億33百万円となりました。

■売上高構成比率



■売上高

